

事業成果報告書

市町村名： 行田市

1 現状及び課題

本市では、近年人口減少が進み、年々児童数も減少しており、人口減少対策は喫緊の課題となっている。

児童数の減少に伴い、市内の市街地から離れた地域の保育園では、児童の確保に苦慮している状況が見受けられ、将来の経営等で不安の声が聞こえている。

子育て支援策では、産前産後から就学前・就学後まで切れ目のない支援を行っているが、手薄となっている年齢もあることから、更なる支援の充実を図る必要がある。

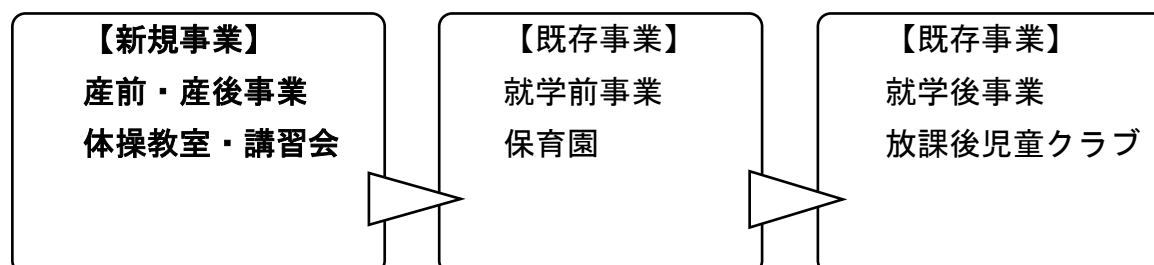
2 事業の目的

産前産後から就学前、就学後まで身近な地域で切れ目ない支援を行うことで、子育ての孤立化を防ぎ、様々な子育て家庭が身近な地域で安心して子育てができるよう、ワンストップで支援する。

3 事業内容

(1) 事業の概要

現在、保育園（就学前事業）、放課後児童クラブ（就学後事業）を運営している法人が新たに産前・産後事業に取り組んだ。



保育士や理学療法士が妊娠・出産・産後に役立つ話や身体の動きを紹介しながら進める体操教室を開催する。また、妊娠や子育てに関する講習会を開催し、必要な知識を身につけるとともに、座談会を開催し今後のつながりの場づくりを支援することで、子育ての不安の解消や孤立化の防止を図る。

(2) 具体的な取組内容

期日	内容	講師
R6. 1. 11	レッドコード体操 薬剤師による与薬講座	理学療法士 薬剤師
R6. 1. 25	アフターマタニティ体操 助産師による健康相談	理学療法士 助産師
R6. 2. 8	マタニティヨガ 口腔ケア講座	助産師 歯科医
R6. 2. 22	アフターマタニティ体操 離乳食レシピ実践会	理学療法士 管理栄養士
R6. 3. 7	ベビーマッサージ 保育園見学会	助産師 保育園長
R6. 3. 21	アフターマタニティ体操 座談会	主任児童委員 保育園長

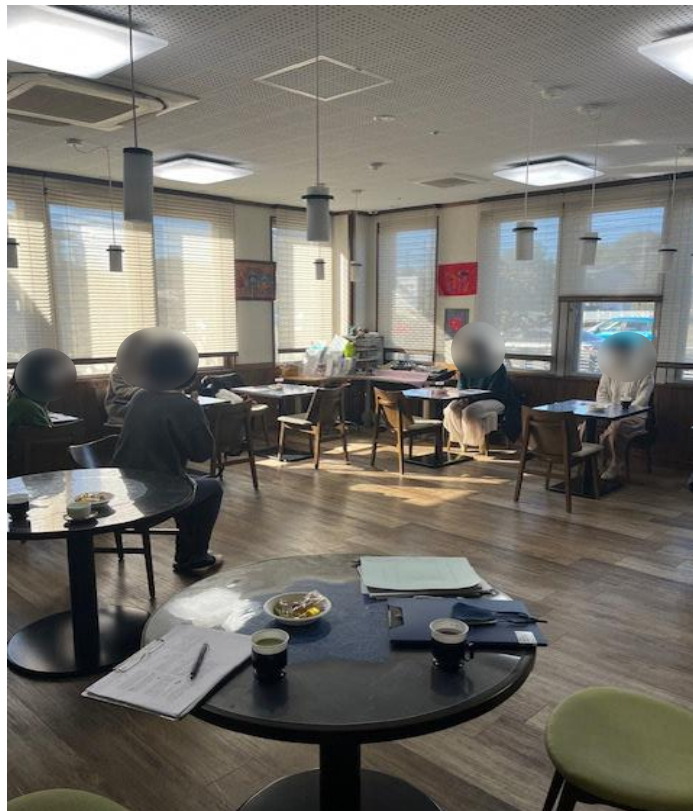
(アフターマタニティ体操)



(ベビーマッサージ)



(助産師による健康相談)



4 成果及び今後の展開

産前・産後事業の参加者にアンケートを行ったところ、「月齢の近い子どもがいてよかった」、「子どもを預けてリフレッシュの時間がとれてよかった」、「ベビーマッサージなどの知識を学ぶことができてよかった」などの意見があり概ね好評でした。

当初参加者が集まらないのではないかという不安もありましたが、チラシや友人からの紹介で参加者が集まり、産前・産後の子育て家庭が身近な地域で支援を受けたいという一定のニーズがあることを把握することができました。

また、参加者からは、今後、取り入れてほしい企画の要望等もあったことから、保護者のニーズを的確に捉え、身近な地域での子育て支援サービスの充実を図る必要性を感じました。

本事業の課題については、実施する際、講師となる専門家や子どもを預かる保育士の手配などが必要となること、また、実施場所の確保などが必要となりますが、今回の委託法人は社会福祉法人で介護老人福祉施設も運営しており、講師や施設の確保が比較的容易にできることから実施可能となったところであり、他の法人では実施が難しいのではないかと感じました。

なお、委託法人も本事業の継続を希望しており、令和6年度も月1回程度開催する予定との報告を受けています。